

## OMIT関数

### 指定された1つ以上の部分文字列を削除した文字列を返す

#### ◇機能

対象のフィールドや値から、1つ以上の部分文字列を削除した値を文字で返します。

#### ◇構文

OMIT(削除対象フィールド,削除する値,大小文字区別)

引数	入力内容
1	削除対象フィールド 削除したい文字列を含むフィールド（文字型、数値型、日付時刻型）またはリテラル値、式を指定します。
2	削除する値 削除する値を指定します。複数の値を指定する場合は、値をカンマ (,) で区切って記述します。「削除する値」に記述するの値の前後には、二重引用符 (") を付けます。 (例) [会社名]フィールドから「株式会社」と「(株)」を削除する OMIT([会社名],"株式会社,(株)",0) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 二重引用符を削除したい場合は、「削除する値」の値の前後の記号に、二重引用符ではなく一重引用符を使用します。</li> <li>● カンマ (,) を削除したい場合は、「削除する値」にカンマのみを指定します。カンマを削除する場合は、複数の値を指定することはできません。</li> </ul>
3	大小文字区別 アルファベットの大文字と小文字を区別するかどうかを指定します。 0 : 区別しない、1 : 区別する

OMIT(削除対象フィールド,削除する値,大小文字区別)

削除対象フィールド  削除対象とする文字列やフィールド名を指定します。

削除する値  削除したい値を指定します。複数指定可能です。

大小文字区別  0 : 区別しない 1 : 区別する

指定した文字列やフィールドに削除したい文字列が含まれている場合は、当該文字列を削除します。  
削除したい文字列は複数指定することができます。

- 削除対象フィールド : フィールド名を指定した場合は、指定したフィールドの各レコードの文字列を対象に削除します。
- 削除する値 : 削除したい文字列を指定します。複数指定する場合は半角カンマ(,)で区切ります。
- 大小文字区別 : 大文字と小文字を区別するかどうかを同じ文字として扱うかを選択します。

【スクリプト例】 OMIT([フィールド名],"(株),株式会社",0)

#### ◇戻り値のデータ型

文字型

## ◇処理の例

例	式	フィールドの値	戻り値
「郵便番号」フィールドの「〒」、「-」を削除する	OMIT([郵便番号],"〒,-",0)	〒100-9999	1009999
「会社名」フィールドの「株式会社」、「(株)」を削除する	OMIT([会社名],"株式会社,(株)",0) ※(株)のカッコは全角文字	ABC株式会社	ABC
		(株) ABC ※カッコは全角文字	ABC
		(株)ABC ※カッコは半角文字	(株)ABC ※カッコが半角のため、(株)は削除対象になりません。
「内容」フィールドの「・」、「"」、「:」を削除する	OMIT([内容],"・","",":",0)	交通費：300円・"往復"	交通費300円往復 ※二重引用符が削除対象のため、「削除する値」の前後の記号を一重引用符にします。
「内容」フィールドの「,」を削除する	OMIT([内容],"",",",0) ※カンマ(,)を削除する場合は、複数の値は指摘できません。 以下の式は、エラーにはなりませんが、「円」のみが削除され、カンマは削除されません。 OMIT([内容],"",",,円",0)	5,000円	5000円
「入力日時」フィールド（日付時刻型）の「/」、「:」を削除する	OMIT([入力日時],"/",":",0)	2023/01/30 17:07:06	20230130 170706 ※《新規フィールド追加》で左の式を使用する場合、フィールドのデータ型は文字型にする必要があります。 日付型にすると、書式設定により、元の値と同じように表示されます。 数値型にすると、時刻の前のスペースが数値として認識されないため、不正な数値となり、結果が「0」になります。